

2020年12月30日

## 日本ドライケミカル株式会社で「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>みけ</sup>三毛 <sup>かねつぐ</sup>兼承、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な確認を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

日本ドライケミカル株式会社（代表取締役社長 <sup>と</sup>遠山 <sup>えい</sup>榮一）は、11月30日に本商品を発行いたしました。

日本ドライケミカル株式会社は、1955年の創業以来、消火器から消火設備、消防自動車、そして自動火災報知設備の分野へと事業領域を拡大し続け、お客さまの防災にかかわるすべてのニーズにワンストップでお応えすることができる総合防災企業グループへと発展してまいりました。今回の ESG 評価の取得をきっかけに、今後、更なる ESG への取り組み強化を図ってまいります。

### 【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 環境に関するリスクや重点課題等について、年1回見直し、検討している点。また、環境以外の社会、ガバナンス面でのリスク・機会・重点課題については、年4回開催されるリスク管理委員会にて検討を行っている点
- ✓ 防消火設備のサイズダウン提案による省資源化、既存設備の保守点検によるインフラの長寿命化、消防車両のアルミによる軽量化等の提案など、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを実施している点
- ✓ 安全衛生の観点で、大気組成成分で構成される新混合ガスを使用し、「人体への安全」地球環境の保全」「確実な消火」を確保したシステムとして不活性ガス（IG-541）消火システムを開発・提供している点

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上